

## ランチョパロスベルデス市長 挨拶

アメリカ合衆国のランチョパロスベルデス市、そして日本のさくら市という素晴らしい町から本日出席されている皆さん、こんにちは。本日も一緒にいるのは、私の市議会議員仲間である、Eric Alegria 氏、Dave Bradley 氏、Barbara Ferrano 氏、そして私たちの町の創立者のひとりである Ken Dyda 氏です。また City Manager である Ara Miharanian 氏、副 City Manager である Karina Banales 氏そして市の法務官である Bill Wynder 氏も同席しています。

私たちの町は 70 名の熱心な職員が在籍しており、1973 年以降、町に関わる全て業務を管理し、町を安全で清潔、そして楽しいものにしてきています。私は、市議会、職員、そしてランチョパロスベルデス市民を代表して、日本のさくら市からお越しになった、花塚市長を代表とする友人を心から歓迎します。ランチョパロスベルデス市は 1973 年に創立され、43000 の人口と 35 km<sup>2</sup>の広さがあります。さくら市は 2005 年に創立され、約 44,000 人の人々と約 126 km<sup>2</sup>の広さがあります。さくら市はこちらより 16 時間時計が進んでおり、彼らにとって現在は水曜日の午前ですが、本日がさくら市と国際友好都市としての締結日となります。これが私たちにとって友好都市としての初の交流です。

ランチョパロスベルデス市には、エンジニア、発明家、芸術家、医師、学生、法律家、科学者、子どもの親たち、公務員、事業者、その他生活に欠かせない全ての職種の人たちがいます。私たち市民は知恵を求め、分かち合っています。私たちは似ているところや異なることを喜んで受け入れます。私たちは失敗を恐れていません。それによって成長するからです。そして本日、これまで以上に私たちは、友情と分かち合える善良さを追い求めています。本日、私たちにとって初の友好都市であるさくら市を歓迎します。

海によって私たちは隔てられていますが、私たちはさくら市と強固な友好関係を築いていきたいと思います。今年の初旬、花塚隆志市長と彼の一行に会ったとき、永遠の絆を築くために彼らがここにいるのだということをはっきり感じました。この友好都市締結という絆を正式に結ぶことにより、両市民の間におけるアイデアや友好の交流をより加速させる次のステップに取り組みます。“これから友好都市としてよろしく願います”。